

1 交付申請書（規則様式第1号）

スタートアップ型 申請書記載例

令和〇〇年〇月〇日

鳥取県知事 〇〇 〇〇 様

知事宛としてください。

申請書の提出日を記入してください。

住所 鳥取県〇〇町〇〇-〇〇

申請者 〇〇地区地域づくり協議会

会長 〇〇 〇〇

(団体にあつては、名称及び代表者印(氏名))

氏名を自署する場合には、押印を省略することができます。押印いただく場合は、団体の代表者印を押印してください。代表者印がない団体の場合は、代表者個人の私印でも支障ありません。

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金交付申請書

鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金の交付を受けたいので、鳥取県補助金等交付規則第5条の規定により、下記のとおり申請します。

該当する申請区分を記入してください。

記

補助事業等の名称	鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助事業（スタートアップ型（スタート支援））
算定基準額(見込み)	111,400円 収支予算書（様式第2号（第4条関係））に記載される算定基準額をご記入ください。
交付申請額	100,000円 上記算定基準額（見込み）に各申請区分に応じた補助率をかけた金額、あるいは補助限度額のうち、いずれか低い額を記載してください。
添付書類	1 事業計画書 2 収支予算書（に準ずる書類）

実際の申請に当たっては、規則様式第1号に挙げている「1 事業計画書」、「2 収支予算書」以外にも提出が必要な書類がありますので注意してください。

【参考：提出書類一覧】

区分	書類
共通	1 交付申請書 2 事業計画書 3 収支予算書 4 団体規約 （規約がない場合は、団体の活動目的、活動概要がわかるチラシ・パンフレット、年間計画等） 5 構成員名簿（主要な構成員（10名以内）の氏名及び事業において果たす役割に係るもの） 6 その他申請事業の参考となる資料
スタート支援	事業の新規性に係る調書 ※過去に令和新時代創造県民運動推進補助金〔令和元年7月4日以前のトトリズム推進補助金、平成27年度以前の鳥取力創造運動支援補助金〕を受けた団体が申請する場合
ステップアップ支援	1 過去に補助金を受けて実施した取組の概要及び課題（過去に補助金を受けて実施した取組みの実績報告書でも可） 2 取組みが将来にわたって継続していくための計画書（実施体制、財源確保の方策を記載したもの）

2 事業計画書（様式第1号）

(1) 事業の区分

希望する区分の□に✓を記入してください。（■（塗りつぶし）でも可）

1枚の事業計画書で申請できるのは、1事業のみです。

(2) 事業の名称

事業内容を端的に表してください。

(3) 事業の目的

事業実施することで実現しようとすることを、解決したい地域課題を踏まえて記入してください。（300字程度）

例) 住民が減って活気がなくなった地域を盛り上げ、また将来的には地域に新たな人を呼び込むために、休止していた地域の「桜まつり」を再開する。
また、桜まつりとあわせてウォーキング大会を実施し、地域住民の健康増進と、地域の魅力の再認識・発信に資する。

【審査の着眼点】「地域課題」「公益性」※別添の「審査項目、審査の観点、配点及び加重」をご参照ください。

- 例)
- ・事業の背景にある地域課題を明確に認識し、またその課題が地域の実情に合っているか。
 - ・活動内容が地域課題の解決に繋がるものとなっているか。
 - ・活動内容が地域社会の持続又は地域の住民にとって貢献度が高いか。
 - ・活動が申請者や一部の者の利益でなく、地域社会にとって利益となるものか。

(4) 地域の課題

本事業で解決しようとする地域の課題や住民ニーズ等について記載してください。

「地域の〇〇という課題のために、〇〇事業を行う。そうすると〇〇のような効果が出て、地域が〇〇になる」のように「何を」「なぜ」「どのように」等を組み合わせて記載してください。

例) 〇〇地域も高齢化や若者の減少や地域コミュニティの希薄化が進み、住民同志の交流も少なくなっている中で、なんとか地域を盛り上げたいという思いがある。
その為には、まず自分達の地域の魅力を再認識するとともに、その魅力を外部に発信することが必要と考えた。
本地域には〇〇川沿いに素晴らしい桜並木が続いており、昔は花見の時期には屋台が立ち並ぶと共に演芸大会が開かれ、「桜まつり」として地域内外から多くの人が訪れ賑わっていた。
この往時の「桜まつり」を地域住民と連携し復活させることで、新たな住民同志の交流が生まれるとともに、最近多くの地区で開催され人気となっているウォーキング大会を併催することで地区外の人呼びこむことで、地域おこしにつなげていこうとするもの。

【審査の着眼点】「地域課題」「地域資源・人材」

- 例)
- ・事業の背景にある地域課題を明確に認識し、その課題が地域の実情に合っているか。
 - ・活動内容が地域の実情、ニーズに即しているか。
 - ・地域に存する固有の資源に着目し、取り入れた活動になっているか。
 - ・地域資源又は人材の活用により事業の効果を高めることが期待されるか。

(5) 事業の効果

本事業が地域や社会に与える影響や効果について記載してください。

「〇〇することで、〇〇や〇〇といった人たち（〇人程度）に、〇〇という効果が与えられる」のように「どのように」「誰に」「どのくらい」等を組み合わせて記載してください。

例) イベントがきっかけとなり、参加者のそれぞれが地域についての問題意識を持ったり、達成感を感じられれば、今後の地域おこしの第一歩となる。また、地域の産物を販売することで、現在農業や加工品作りを行っている方にとっても地域外に知ってもらえるよい機会となると考える。
また、〇〇まつりには地域の老人会、青年部、婦人会、子ども会にも参加してもらうことで、地域の人の絆が深まり、これからの様々な取組みに繋がっていくものとする。

【審査の着眼点】「公益性」

- 例)
- ・活動の内容が、地域社会の持続または地域の住民生活にとって貢献度が高いものであるか。
 - ・活動が、申請者やその関係者など一部の者だけの利益ではなく、地域社会にとって利益となるものか。
 - ・成果がより広く地域社会のものとなるように、より多くの参加者を募り、又は積極的に情報発信を行う活動であるか。

(6) 実施体制

事業を効果的に実施するために、誰が事業を実施するか、どのような関係者と連携を行うかを記載してください。

例) ○○地域づくり協議会
会 長 ○○○○
副 会 長 ○○○○ (イベント実施に関する責任者)
その他会員 ○○名 (役割分担を行い、事前の準備・広報、当日運営にあたる)
その他、○○地区老人会を始め地域の町内会が当日運営の補助を行うとともに、地区青年部、婦人会、子ども会に様々な面で協力いただく予定。

既に組織図等がある場合は記載いただき、「別添のとおり」と記入していただいても支障ありません。

【審査の着眼点】「地域資源・人材」「顔の見えるネットワーク」「計画の実現性」

- 例) ・地域資源又は人材の活用により、事業の効果を高めることが期待されるか。
・申請者がもっている、団体や個人との既存のネットワークを活用する活動になっているか。
・地域住民と連携をしながら行う活動になっているか。
・主体的に取り組むための体制が整えられているか、または体制整備が確実に見込まれるか。

(7) 事業内容

補助金を受けて実施する事業の内容を、「いつ、誰を対象に、どこで、何をどのように」実施するのが明確に分かるように記入してください。実施される内容がわかるように、具体的に記載してください。

また、計画の実現性について、十分な体制のもと取組を主体的に行い、計画を実現することがわかるように記載してください。「○○の実現に当たっては○○と○○が協力し、十分な人数が確保できている」のように、「どのように」「誰が」等を組み合わせて記載してください。また、身近な行政組織（市町村役場）との関係性、連携についても記載してください。（「事業概要」に含めて記載しても構いません。）

計画から、時期や会場が変更となっても、事業が適切に行われれば支障はありません。（この場合、事前に相談してください。）

事業計画書や既存資料がある場合は、この欄には重要な部分のみをご記入いただき、「別添資料参照」と記載して、関係書類を添付いただいても構いません。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対策の徹底をお願いします。】

「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対策を徹底し、政府又は県から催物（イベント等）の開催制限等の要請があれば、要請に従い、開催の中止、延期又は規模縮小等の対応を行う」旨を記載してください。

(1) 政府又は県による各種要請や留意事項等の厳守

政府又は県の新型コロナウイルス感染症特設サイトや報道機関等による最新の情報を注視し、各種要請や留意事項等を厳守の上、イベント等や補助事業の実施に係る打ち合せ等の感染拡大防止対策を行うとともに、要請等に応じた中止、延期又は規模縮小等（以下「中止等」という。）の対応を行ってください。

- ・ 政府（首相官邸）ホームページ
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html#c5>
- ・ 鳥取県新型コロナウイルス感染症特設サイト
<https://www.pref.tottori.lg.jp/corona-virus/>

(2) イベント等の開催の中止等に伴う手続き

補助事業の変更又は中止についてあらかじめ知事の承認が必要とされているため、イベント等の開催を中止等する場合は事前に相談してください。

(3) イベント等の開催の中止等に伴う経費の取扱い

ア 政府又は県からイベント等の開催制限等の要請に伴い、開催の中止等をした場合の取扱いは、次のとおりとします。

(ア) あらかじめ準備が必要な経費については補助対象とする。（例：広報費、会場のキャンセル料等）

(イ) イベント等開催日の直前に準備可能な経費は対象外とする。ただし、開催日直前に政府又は県から中止等の要請があった場合は、補助対象とする。（例：イベント等の当日に使用する原材料・消耗品に係る経費等）

イ 政府又は県からの要請を伴わない自己都合による中止等に係る経費は、申請者の負担とする。

<イベント等を実施する場合>

<p>例) 事業実施予定日：○年○月～○月頃 計○回 対象者：○○地区住民、○○地区近隣住民 参加予定人数：○○名（各回○名） 開催場所：○○ 事業概要：・○○川土手を中心に、地区を巡る○キロのウォーキングコースを設定し、桜とその他の地区の風景や、あまり知られていない名所を巡って楽しんでいただく。 ・コースはマップを作成し、その他の地区内の名所を巡っていただくきっかけとする。 ・○○公園をゴールとして、完歩されたかたには老人会手作りの桜の花びらをあしらった参加記念証をプレゼントする。 ・また、ウォーキング参加者には「桜まつり」会場で使える割引券を配布し、会場での飲食や、お土産を買って帰っていただくことに繋げる。</p> <p>計画の実現性：・「桜まつり」については、以前実施していた頃の備品などがあるため、新たな備品の調達は不要。運営については、青年部・婦人会などは町外のイベントに屋台を出店している実績がある。 ・「桜ウォーキング大会」については初めての試みのため、町の体育協会などと連携をし、事前の準備に務めるとともに、当日も救護所を開設し、医療関係者の方に待機いただき不測の事態に備える。</p> <p>事業完了予定日：○年○月○日</p>

※県内産業の振興のために、補助事業に伴う発注をできる限り県内事業者にしていただくようお願いしています。対象経費が委託費の場合で、県内事業者への発注が困難な場合は、その理由を事業内容の欄に記載していただきます。

発注が難しい場合は、事前に相談をしてください。

【審査の着眼点】「計画の実現性」

- 例) ・活動実施のための具体的な場所、手段が示され、必要なノウハウが備わった計画になっているか。
 ・活動実施のための具体的なスケジュールが示されているか。

(8) 個別項目

以下を参考に、該当する個別項目に対応する事業の特色を記載してください。

「○○と○○という新たな工夫をすることで、○○や○○という効果を得ようとする」のように「誰が」「どのように」「誰に」「どのくらい」等を組み合わせて記載してください。

区分名	個別項目
スタート支援	本事業での新規の取組または従来の事業から拡充した部分、新たな工夫を加えた部分
ステップアップ支援	前年度以前にスタートアップ型(スタート支援又は継続支援)〔平成27年度以前の鳥取力創造運動支援補助金についてはスタートアップ型(新規又は継続)〕補助金を受けた取組の課題や経験を踏まえ、その継続及び参加者の満足度向上、参加者の増加等のための新たな工夫や、組織基盤の整備・取組の広がり

例) 【「スタート支援」の場合】

近年実施していなかった「桜まつり」を復活させるものであり、新たにウォーキング大会を併催することで、単なる花見客だけに限らない新たな層の集客を図る。

また、ウォーキングコースのマップは今回の大会以外にも活用し、大会に参加された方とは別のウォーキングの愛好者が、今後また地域を訪れてくれるきっかけとしたいと考えている。

例) 【「ステップアップ支援」の場合】

フェイスブックやツイッター等 SNS を活用した情報発信を行うとともに、ポスター・チラシを飲食店等で掲示をするなど PR 活動を強化し、ウォーキング大会の参加者増加を図る。

また、桜をお題にした絵のコンクールを開催する等、地元の小学校と連携し、より多くの子どもたちがまつりに参加できる仕組みをつくる。

【審査の着眼点】「個別項目」

別添の「審査項目、審査の観点、配点及び加重」の該当する個別項目欄をご参照ください。

(9) 他の補助金等の活用の有無

本事業において活用する予定の他の補助金、助成金等があれば、その名称、事業内容及び助成元の部署・団体名を記載してください。

例) ○○町補助金 (ふるさと再生補助金) 30,000 円 (※申請予定)

(10) 過去3年間の活動実績

団体として過去3年間に取り組んだ活動実績(時期及び活動内容)及び令和新時代創造県民運動推進補助金〔令和元年7月4日以前のトットリズム推進補助金〕の活用実績を記載してください。

年間の活動報告などがある場合は、それを「別紙参照」として添付していただいても構いません。今までの取組を知ることで、申請事業の「計画の実現性」(実績のある団体の方が、実現性は高いと評価されやすくなります)や「個別項目」(過去の事業と比べて、新たな工夫や展開が見られるほうが評価されやすくなります)の参考となります。

過去3年間に取り組んだ活動実績(令和新時代創造県民運動推進補助金・他の補助金等の活用がある場合は記載)

平成29年度 9月 ○○町農林水産祭への出店(地区特産品の販売。6名の参加) ○○事業補助金活用
平成30年度 9月 ○○町農林水産祭への出店(地区特産品の販売。11名参加) ○○事業補助金活用
令和元年度 ○○○事業で令和新時代創造県民運動推進補助金スタートアップ型(スタート支援)活用

(11) 関係法令の遵守

関係法令の遵守をご確認のうえ、□欄に✓を入れて下さい。(■(塗りつぶし)でも可)

事業を実施するにあたり、関係法令を遵守していただくための注意喚起です。関係法令等の例は、募集要項を参照してください。

(12) 令和新時代創造県民運動実践団体への登録

令和新時代創造県民運動推進補助金を活用して事業に取り組む団体は、特段の支障がない限り令和新時代創造県民運動実践団体として登録いただき、地域づくりに関する各種情報の収集、発信などにより効果的な地域づくり活動に取り組んでいただくこととしています。

□欄に✓を入れてください。**※既に登録している場合は「登録済」に✓を入れてください。**

令和新時代創造県民運動実践団体に登録することで、ご自身の団体のイベント情報、ボランティア募集情報、団体情報等を当該が運営する令和新時代創造県民運動サイトに掲載し、情報発信することができます。ご希望であれば各種助成金情報、イベント情報等のメルマガ配信も可能です。ご登録は以下 URL から可能です。

http://tottorism.pref.tottori.jp/login_menu.php

(13) 消費税の取扱い

該当する区分にの□欄に✓を入れてください。(■(塗りつぶし)でも可)

- 一般課税事業者 基準期間(前々事業年度)の課税売上高が1,000万円を超える事業者
- 簡易課税事業者 課税事業者の中で前々年の課税売上高が5,000万円以下であり、簡易課税制度を選択した事業者
- 免税事業者 基準期間(前々事業年度)の課税売上高が1,000万円以下で特定期間の課税売上高もしくは支払った給与等の金額が1,000万円以下の事業者

(14) 担当者連絡先

申請書の内容についての問い合わせや相談に対応いただける方のお名前と、平日・日中に連絡がとれる連絡先を記入してください。必ずしも代表の方の連絡先を記載する必要はありません。

3 収支予算書（要綱様式第2号）

参加費、その他の収入がない場合 ⇒記載例1参照

参加費、その他収入がある場合 ⇒記載例2参照

補助対象外経費がある場合 ⇒記載例3参照

記載例1（参加費、その他の収入がない場合）

様式第2号（第4条関係）

〇〇年度鳥取県令和新时代創造県民運動推進補助事業収支予算書

収入の部

（単位：円）

区分	予算額	積算内訳
県補助金	100,000	令和新時代創造県民運動推進補助金スタートアップ型（スタート支援）
自己資金	166,400	一般会計より 11,400円 賛助会費より 155,000円
参加費① （入場料、出展料等）		NPO法人の賛助会費等、団体及び当該事業への寄附は自己資金となります。
その他の収入② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕		
合計	266,400	

支出の部

（単位：円）

区分	予算額	積算内訳
補助対象経費	謝金	ウォーキング大会救護所看護師 5,000円×2名=10,000円
	委託料	ウォーキングマップデザイン料（業者に依頼）
	印刷製本費	チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚（業者に依頼）
	保険料	レクリエーション活動保険料（ウォーキング参加者） 500円×100人
	消耗品費	文房具：6,400円、ウォーキング大会案内看板：4,000円×5枚=20,000円、子ども会ぼんぼり作成材料費：30,000円、老人会参加記念証作成材料費：5,000円、割引券作成材料費：5,000円、青年部・婦人会屋台材料費：80,000円
	補助対象経費計③	266,400
補助対象外経費	なし	なし
	補助対象外経費計	0
合計	266,400	

○支出の区分は、募集要項の例を参考としてください。

○経費について、事前に確認をするか、不足することがないように概算（多めに）で積算をしてください。

ただし、明らかに過剰な積算や、事業に必要なあるいは効果的とは思えない支出が含まれる場合は「補助金の有効活用」の評価に影響します。

○予算額の内訳について説明できるよう、単価や数量をできるかぎり記載してください。

○委託費、工事請負費については、原則として、県内事業者への発注を要件とします。県外事業者へ発注する際は事前にご相談の上、理由書を提出してください。

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 266,400 円

記載例1における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③266,400円 - (参加費① + その他の収入②) 0 = 266,400円

※参加費、その他収入は無いので減算は0となります。自己資金は減算しません。

記載例2 (参加費、その他の収入がある場合)

様式第2号 (第4条関係)

〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助事業収支予算書

収入の部

(単位：円)

区分	予算額	積算内訳
県補助金	100,000	令和新時代創造県民運動推進補助金スタートアップ型 (スタート支援)
自己資金	11,400	一般会計より 11,400円
参加費① (入場料、出展料等)	55,000	ウォーキング参加料 一人500円×100人 =50,000円 出店料 町外 1,000円 ×5件=5,000円
その他の収入② (民間・市町村助成金、 販売収入等)	100,000	〇〇町補助金 (ふるさと再生補助金) 30,000円 屋台販売収入 (おこわ：300円×50食=15,000円、山菜そば：400円×50食=20,000円、カレー：300円×50食=15,000円、桜もち：100円×200個=20,000円)
合計	266,400	

事業実施にあたって見込まれる全ての収入について記載してください。今後申請を予定している他の補助金やイベント等での販売・入場料収入なども、見込額で記載してください。
申請時よりも収入が増加した場合は、補助金額が減少する可能性があります。実際にあった収入は適切に報告してください。(後日、補助金の返還を求める場合があります。)

支出の部

(単位：円)

区分	予算額	積算内訳
補助対象経費	謝金	ウォーキング大会救護所看護師 5,000円×2名=10,000円
	委託料	ウォーキングマップデザイン料 (業者に依頼)
	印刷製本費	チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚 (業者に依頼)
	保険料	レクリエーション活動保険料 (ウォーキング参加者) 500円×100人
	消耗品費	文房具：6,400円、ウォーキング大会案内看板：4,000円×5枚=20,000円、子ども会ぼんぼり作成材料費：30,000円、老人会参加記念証作成材料費：5,000円、割引券作成材料費：5,000円、青年部・婦人会屋台材料費：80,000円
	補助対象経費計③	266,400
補助対象外経費	なし	なし
	補助対象外経費計	0
合計	266,400	

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 111,400 円

記載例2における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③ 266,400円 - (参加費① 55,000円 + その他の収入② 100,000円) = 111,400円

※参加費、その他収入があるので減算します。

記載例3 (補助対象外経費ある場合)

様式第2号 (第4条関係)

〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助事業収支予算書

収入の部

(単位：円)

区分	予算額	積算内訳
県補助金	100,000	令和新時代創造県民運動推進補助金スタートアップ型 (スタート支援)
自己資金	21,400	一般会計より 21,400円
参加費① (入場料、出展料等)	55,000	ウォーキング参加料 一人500円×100人 =50,000円 出店料 町外 1,000円 ×5件=5,000円
その他の収入② (民間・市町村助成金、 販売収入等)	100,000	〇〇町補助金 (ふるさと再生補助金) 30,000円 屋台販売収入 (おこわ：300円×50食=15,000円、山菜そば：400円×50食=20,000円、カレー：300円×50食=15,000円、桜もち：100円×200個=20,000円)
合計	276,400	

支出の部

(単位：円)

区分	予算額	積算内訳	
補助対象経費	謝金	10,000	ウォーキング大会救護所看護師 5,000円×2名=10,000円
	委託料	30,000	ウォーキングマップデザイン料 (業者に依頼)
	印刷製本費	30,000	チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚 (業者に依頼)
	保険料	50,000	レクリエーション活動保険料 (ウォーキング参加者) 500円×100人
	消耗品費	146,400	文房具：6,400円、ウォーキング大会案内看板：4,000円×5枚=20,000円、子ども会ぼんぼり作成材料費：30,000円、老人会参加記念証作成材料費：5,000円、割引券作成材料費：5,000円、青年部・婦人会屋台材料費：80,000円
	補助対象経費計③	266,400	
補助対象外経費	食糧費	8,000	スタッフ昼食代 800円×10名
	交通費	2,000	スタッフガソリン代相当 2000円
	補助対象外経費計	10,000	
合計	276,400		

○食糧費については、活動団体内部の者に対する給付 (会議の茶菓、懇親会経費など) は対象外ですが、講師に提供する昼食等、必要最低限のものは対象となります。
○個人給付的な経費は対象外です。(講師への報償費及び旅費や団体構成員への委託費除く)

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 111,400 円

記載例3における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③266,400円 - (参加費① + その他の収入②) 155,000 = 111,400円

※補助対象外経費は含まずに算出します。

<別添>審査項目、審査の観点、配点及び加重

項目		観点	配点
1	地域課題	ア. 事業の背景にある地域課題を明確に認識し、またその課題が地域の実情に合ったものである。 イ. 活動内容が地域課題の解決につながるものとなっている。 ウ. 活動内容が地域の実情、ニーズに即している。	5点
2	地域資源・人材	ア. 地域に存する固有の資源（特産品、名所、伝統文化等）に着目し、とり入れた活動である。 イ. 地域で既に活躍する、または潜在する人材に着目し、とり入れた活動である。 ウ. 地域資源または人材の活用により、事業の効果を高めることが期待される。	5点
3	顔が見えるネットワーク	ア. 申請者がもっている、団体や個人との既存のネットワーク（つながり、絆）を活用する活動である。 イ. 活動の効果を一層高めるため、これまでつながりのなかった団体や個人との新たなネットワークを活用する、または生み出す活動である。 ウ. 地域住民と連携をしながら行う活動である。	5点
4	公益性	ア. 活動の内容が、地域社会の持続または地域の住民生活にとって貢献度が高いものである。 イ. 活動が、申請者やその関係者など一部の者だけの利益ではなく、地域社会にとって利益となるものである。 ウ. 成果がより広く地域社会のものとなるように、より多くの参加者を募り、または積極的に情報発信を行う活動である。	10点 (5点満点 × 2倍)
5	計画の実現性	ア. 申請者が主体的に取組みを行うための体制を整えている、または体制整備が確実に見込まれる。 イ. 活動実施のための具体的な場所、手段（ツール）が示され、必要なノウハウが備わった計画となっている。 ウ. 活動実施のための具体的なスケジュールが示されている。	10点 (5点満点 × 2倍)
6	補助金の有効活用	ア. 活動内容に対して、予算規模が適正な計画となっている。 イ. 活動目的の達成のために適切な支出使途が検討された計画となっている。 ウ. 事業規模にかかわらず、費用対効果が期待される。	10点 (5点満点 × 2倍)
7	個別項目 スタートアップ型（スタート支援） 新規性	ア. 新たに第一歩を踏み出す活動、従来からの取組みから規模を拡大しまたは工夫を加えた活動もしくは衰退・存続の危機に瀕している地域の行事・伝統文化等を再興しようとする活動である。 イ. 活動の開始にあたっての熱意や意欲が申請書類から感じられる。 ウ. 県内での取組みとして独自性（オリジナリティ）または目新しさ（革新性）が感じられる。	15点 (5点満点 × 3倍)
	スタートアップ支援 継続性・発展性・成長性	ア. スタートアップ型（スタート・継続）の事業実施時の課題や経験を活かしたのものとなっている。 イ. 今後、活動が継続・充実していくための工夫や組織基盤の整備に取り組んでいる。 ウ. 活動内容が、内容の充実や受益者の増など、今後の発展性が期待できるものとなっている。	15点 (5点満点 × 3倍)
全7項目、委員1人あたり60点、5人計で300点満点			